

一連載 地図のお話一 No. 177



「記念物めぐりー茨城県版ー」(第 6 回)

ー笠間稲荷神社と茨城県指定 天然記念物「八重の藤」ー

日本ウオーキング協会 専門講師 堀野 正勝

記念物巡りの第 6 回は、笠間市に所在する笠間稲荷神社周辺を訪ねます。笠間稲荷神社周辺には、つつじ祭りでも有名な佐伯山麓公園や忠臣蔵でも有名な浅野藩家老・大石内蔵助の旧宅跡や笠間日動美術館、茨城県陶芸美術館など陶芸の街に相応しい数々の見どころがあります。笠間神社と茨城県指定天然記念物「八重の藤」 昭和 42 年 11 月 24 日 指定



(笠間稲荷神社の大鳥居)

笠間稲荷神社は、日本三大稲荷の一つで、651(白雉 2)年の創建と伝えられています。笠間稲荷神社は、この地に胡桃(くるみ)の密林があり、そこに稲荷大明神を祀っていたことより「胡桃下稲荷」とも呼ばれました。

笠間稲荷神社は、あらゆる殖産興業の神様、蘇生(よみがえり)の神様、生成発展の神様、産靈(むすび)の神様、火防(ひぶせ)の神様として、広く崇敬されています。



境内参道の東側にある大藤は、花房が最長で 1.5m にもなります。また、ぶどうの房のように咲く「八重の藤」は種子を付けない珍しい品種で、茨城県の天然記念物に指定されています。

八重の藤は、二株植えられており、いずれも 400 年余りの樹齢を重ねる藤です。見頃は、5 月上旬頃ですので、今年は時期を過ぎてしまいましたが、是非来年は訪ねてみては如何でしょうか。名物の「稲荷ずし」も待っていますヨ。

(笠間稲荷神社本殿と県指定天然記念物「八重の藤」)

佐伯山麓公園

佐伯山は、夏の新緑、秋の紅葉、数百種の植物が繁茂する自然の宝庫です。佐伯山の西麓にあるのが、旧笠間藩の下屋敷跡に作られた佐伯山麓公園です。

公園には、春になると桜の大木が一面に花を咲かせるほか、子供向けの遊具も沢山あり、四季折々の自然を家族で楽しめほか、時鐘楼が移設され史跡となっています。



(時鐘楼)

笠間城址

佐伯山頂(標高 182m)に築かれたのが笠間城です。鎌倉時代に笠間時朝(1203~1265)が築いてから約 750 年間、歴代の笠間領主の居城となっていました。

山頂の天守曲輪には、佐志能神社があります。城址は、東日本大震災により、天守曲輪の石垣や石段などが崩壊するなど大きな被害を受けました。

大石邸跡

「忠臣蔵」で知られる大石内蔵助の祖父で、笠間藩家老であった大石良欽(よしたか)の邸宅跡です。仕えていた浅野氏は、赤穂転封の前は笠間藩主でした。その後赤穂へ移って 57 年後に浪士の討ち入り事件が起こりました。



笠間つつじ公園とつつじ祭り

笠間つつじ公園は、4 月中旬から 5 月中旬に開かれるつつじ祭りの会場となります。笠間市でのつつじの花は、春の風物詩として欠かせないものです。

様々な品種のつつじが咲きほこり、人々の目を楽しませてくれます。期間中、園内では野点や琴の演奏なども開催されます。

流鏝馬

流鏝馬は、毎年 11 月 3 日の文化の日で開催されます。笠間小学校前の特設馬場で、3ヶ所に設けられた的を鏝矢で射て、その命中率で来年の農業の豊凶を占います。笠間には、その他、陶芸を専門に扱う茨城県陶芸美術館や、昭和 47 年に創設された笠間日動美術館等があります。



(つつじ公園より笠間市街を望む)

地理院地図

GSI Maps

